

長和 剛平さん（山口県周防大島町出身）
2015 年度 1 次隊 青年海外協力隊
派遣国：パプアニューギニア 職種：コンピュータ技術
2017 年 1 月 1 日（日）中国新聞 SELECT 掲載



※中国新聞社の許諾を得ています

PC 授業の手法を改良

ニューブリテン島のラバウルから車で約 30 分の山あいの男子高校で、2015 年 7 月よりコンピューター（PC）の教師として活動している。一番注力してきたのは授業方法の改革だ。

パプアニューギニアでは教科書が全生徒に 1 冊は行き渡らないため、先生が黒板へ重要事項の板書と説明を行い、生徒はそれをノートに

メモする。その作業が終わってやっと PC に触れるというのが一般的なコンピューターの授業だ。自宅に PC がある生徒はほとんどおらず、予習復習は難しい。PC に触れ、様々な機能を試す、実践的な技能の習得は見込めない。

そこで、教室の PC（約 20 台）と LAN 環境（インターネットは無い）だけを使った授業を考えた。3 か月の試行錯誤を経て、授業の全て（レッスン、課題の作成・提出、テストなど）を PC 上ででき、同時に授業教材の均一化、ペーパーレス、点呼や採点の効率化も図れるシステムを構築した。Web ベースのオープンソース e-Learning アプリケーションと米国の非営利団体が提供する教材を利用しているため、お金はかからない。

まずは自分の学校でこの教材を使用し、改良を重ねながら様々な教育機関に紹介した。結果、いくつかの高校や、大学への導入が決まり、将来コンピューターの先生となる大学生を対象とした利用方法の講座をさせていただくことができた。残り半年の任期でこの輪をどれだけ広げられるかが勝負だ。



構築したシステムを、大学に導入してもらうため開いたワークショップ